

## 普及活動情勢報告（平成29年3月分）

中央東農業振興センター農業改良普及課

### ニラの環境制御技術現地検討会



実証ほでの意見交換

3月14日、J A土佐香美、J A四万十管内の環境制御技術実証農家のほ場で、ニラ環境制御技術現地検討会が開催され、関係機関のニラ担当者 23 名が参加しました。ニラでは炭酸ガスを施用することで、厳寒期の生育が促進されます。一方で、葉先枯れが助長される傾向があり、解決に向けて取り組んでいます。

農業改良普及課では、原因を明らかにするために、ハウス内の環境データの比較や調査を行っており、その結果について説明しました。

実証農家からは、「今年は湿度を抜くために、内張りの資材を変えた。葉先枯れの発生は去年より抑えることはできたが、病気が発生してしまった。」と説明されました。

今後も農業改良普及課では、葉先枯れの課題解決を図り、ニラの増収技術の確立に向けて支援していきます。

### ～組織のステップアップに向けて～ 第3回香美市集落営農塾 兼 香美市集落営農組織連絡会



各組織等から現状等の説明(情報共有)



現地研修（ネギほ場）

3月6日に香美市香北町で、今年度最終の第3回集落営農塾と集落営農組織連絡会が開催され、関係機関等を含めて 56 名が参加しました。

まず、市から中山間直弘の広域連携等について説明があり、農業改良普及課からは組織のステップアップに向けた取組について、他集落の事例等を交えて説明しました。

次に、情報共有等を目的に各組織や集落の現状や課題等について話してもらった後、組織活動を強化している事例も説明してもらいました。

その後、管内で先進的な組織（西永野集落営農組合）から取り組み経過や今後の方針等について説明していただき、併せて現地研修も行いました。

各組織等からは共通して高齢化や担い手不足の課題が出されましたが、先進的な組織の取組を直接聞くことで、組織のステップアップへの関心が高まりました。

今後はこの塾をきっかけに、関係機関と協力して既存組織のステップアップ等を支援していきます。

### 平成28年度青年農業士中央東ブロック総会開催



研修を受ける参加者

3月16日、中央東農業振興センターにて平成28年度青年農業士中央東ブロック協議会総会が26名参加のもと、開催されました。年間活動実績等の報告や次年度予算が承認されるとともに、次年度の役員改選も行われました。

農業改良普及課は、「全国農業担い手サミット in こうち」について情報提供し、協力を依頼しました。また、「農業における酸素の活用」と題し、現地での活用事例についてメーカーの協力を得て研修を行いました。「使用にあたって、ランニングコストはどのくらいか？」など農業での可能性を感じていたようで参加者からは質問もあり、有意義な研修となりました。

農業改良普及課は、今後も青年農業士の活動を支援していきます。

### J A土佐香美柚子生産部会が座談会を開催



話を聞く生産者

3月17日、J A土佐香美柚子生産部会はJ A土佐香美物部支所で座談会を開催し、生産者72名が参加しました。

座談会は、毎年この時期に開催し、生産者、部会、J Aの貴重な意見交換の場となっています。

農業改良普及課からは、親元就農支援制度や、国のブランド認証の一つである地理的表示保護制度について紹介しました。

生産者からは、「研修はどこで何をするのか」等の質問があり、関心を高めることができました。

農業改良普及課は、就農支援体制整備やブランド認証への取り組み等により、今後も物部地域のユズ産地の維持、強化を支援します。

### 農村女性リーダーが総会を開催



揃ってあいさつする新役員

3月3日、中央東農業振興センターで中央東地区農村女性リーダーの総会が開催されました。出席者17名が3つの議案を審議、承認し、平成29年度の活動計画と新たな運営体制が決まりました。

農業改良普及課は総会運営にあたっての助言や「第20回全国農業担い手サミット in こうち」について情報提供を行い、会の円滑な進行などを支援しました。意見交換会では、視察研修、PR活動、協議会の運営等平成29年度の活動について活発な議論がなされ、来年度開催される「担い手サミット in こうち」ではリーダーの活動をPRすることになりました。

農業改良普及課は、今後、農村女性リーダーの取り組みが主体的かつ円滑に実施できるように支援していきます。

### ニラ集出荷施設と環境制御技術について研修しました



ニラ集出荷場での作業を見学

3月17日にニラ生産研究会の生産者5名とJA土佐香美営農指導員で、JA高知はた佐賀支所のニラ集出荷施設と高知県担い手育成センターの環境制御の取り組みについて視察研修を実施しました。集出荷施設では、ニラの調製・出荷作業の様子を見学しました。参加者からは、1束あたりの経費や日処理量、利用農家の意見、運営上の課題等多くの質問が出され、調整作業の省力化の必要性を強く感じた様子でした。また、担い手育成センターでは、炭酸ガスを施用したニラの生育と施用効果を確認し、特にかん水や湿度管理等、ニラの生育環境を最適化することの重要性について理解が深まりました。

農業改良普及課は、今後も県内の先進事例等を学びながらニラの調製作業の省力化や生産拡大に取り組みます。

### 集落営農法人設立による集落の維持発展に向けて ～西永野集落営農組合臨時総会～



臨時総会の様子

2月18日に香美市香北町永野集落で、西永野集落営農組合の臨時総会が開催され、組合員等20名の参加がありました。

まず、組合長よりこれまでの取組経過や法人化の必要性等の話があった後、法人設立に向けた発起人会での協議結果を元に、法人の経営計画案等について説明がありました。

農業改良普及課は、総会資料の作成支援と経営計画案等について補足説明を行いました。

組合員からは「法人のメリット・デメリットをもう一度説明してほしい」、「組合員も高齢化しているので稼いで若者を入れていかないと続かない」など前向きなご意見等があり、29年3月に設立総会を開催することとなりました。

今後も関係機関と協力して法人設立の手続きを始め、営農計画に沿った活動ができるように支援していきます。

### JA南国市の若手ねぎ農家、大阪市場・大規模農業生産法人を視察



青ねぎ出荷調製ラインの見学

3月2～3日、JA南国市青ねぎ部会の若手3名が、大阪市場および西条市で青ねぎを生産する農業生産法人「だんだん村」への視察を行いました。大果大阪・大阪南部合同青果では消費地動向や要望を収集、農業生産法人では出荷ラインや機械類、育苗施設を見学しました。

農業改良普及課は、視察先選定の助言や面談時のリード等、充実した研修ができるようサポートしました。

部会長からは、「うね立てのタイミングが参考になった」、「次回は見学先を増やしたい」という意見が聞かれました。

農業改良普及課では、露地青ネギの産地強化のため、若手農家を中心に組織活動を支援していきます。

### 勉強会で主要病害虫の生態を再認識



アンケート結果を聞く参加者

J A南国市大葉部会の勉強会が2月23日に開催され、生産者36名が参加しました。

勉強会では農業技術センター研究員から、「オオバの機能性成分の分析結果報告」と「主要病害虫であるアザミウマ類や斑点病の生態とその対策」について説明がありました。参加者からは、「天敵の放飼量は？」、「微生物資材の対象範囲は？」といった質問が出され、生産者間での意見交換も見られました。

農業改良普及課からは、アザミウマ類の発生状況等を聞き取ったアンケートの結果や薬剤散布のポイントについて報告しました。

今後も農業改良普及課は、オオバの安定生産に向けて支援していきます。